

第2期かほく市教育振興基本計画（素案）に対するパブリックコメント

実施時期 平成31年1月4日（金）～平成31年1月18日（金）まで

募集要領 かほく市広報紙平成31年1月号、かほく市ホームページで意見募集
（閲覧場所：市立中央図書館、産業文化センター図書室、学校教育課）

意見者 1名（男性）

年齢 性別	No.	意見概要	意見に対する回答
74歳 男性	1	<p>基本目標3の施策の基本的方向3-(3)「博物館活動の充実と情報発信」と同3-(4)「生涯学習活動を支える環境整備・充実」の具体的な取組について、西田幾多郎記念哲学館などの施設の「充実」「機能の強化」「環境の整備」「有効活用」という用語が使用されているが具体性が示されていない。</p> <p>①「海と渚の博物館」の市民ギャラリーや展示室について、多目的な活用を考え、効率的運営を図るべきである。施設の入口が親しみ難いデザインである。</p> <p>②「西田幾多郎記念哲学館」について、ギャラリーなど多目的活用を検討する余地がある。</p> <p>③「まちかど交流館」について、リフォームし作品展示などの機能を高めるとよい。</p> <p>④スマートシティの推進、既存施設の活用方法の再検討、文化施設の集約、市民参加型の意見聴取を提案する。</p>	<p>①「海と渚の博物館」について、民俗資料（実物）の保管・公開の基本機能を保ちつつ、展示の見直しや多目的活用について検討する旨を記していますので、今後の参考意見とさせていただきます。なお、施設は、戦後の日本建築史を代表する内井昭蔵氏（金沢市「からくり記念館」を設計）の設計であり、今のところ改修の予定はありません。</p> <p>②「西田幾多郎記念哲学館」の円形部分であるホワイエ（1階～地階）は、プロ作家など質の高い芸術のギャラリーとして有料で提供しています。また、5階の展望ラウンジは、夕景、夜景を含めた景観鑑賞空間としているほか、禅文化体験会など事業での活用を進めており、今後も多目的活用を検討します。</p> <p>③「まちかど交流館」は、今回の計画の対象となっておりませんので、回答を控えます。</p> <p>④提案については、市の総合計画など今後の上位計画の参考意見とさせていただきます。</p>